

石田まさひろ政策研究会会員の皆様、ご入会ありがとうございます。

私、石田昌宏は国会議員になって3年半、重責を頂いたことを使命と考え全力で政策課題の解決に奔走して参りました。与党内での政策審議、参議院委員会での与野党討議、各省庁との折衝など、国会議員がすべきことは多岐に渡ります。しかしながら、国政の原点に立ち戻れば、国民の皆様の声を聞き共に考えることこそ国会議員の本義だと思えます。そこで、この政策研究会を立ち上げました。

今後、月に2回、政策研究会メルマガ『Seki-shiN～石心』をお届けいたします。石心には、「固い決意」と「赤心」という思いを込めました。毎回、各界識者のご寄稿をお送りし、政策課題解決のヒントとして皆様と共に考えを深めていきたいと存じます。

ご感想やご意見をお寄せください。

『Seki-shiN～石心』をどうぞよろしくお願ひいたします。

参議院議員 石田昌宏

## 福祉のこれからを展望する

### ■キーワードは「我が事・丸ごと」

厚生労働省は、昨年(平成28年)7月、省内に『我が事・丸ごと』地域共生社会実現本部なる本部を立ち上げた。

役所らしからぬ「我が事・丸ごと」というネーミングの考え方は、厚生労働省の「地域力強化検討会」(座長：原田正樹 日本福祉大学教授)が昨年12月にまとめた「中間とりまとめ」で説明されている。その中では、地域の存続の危機、課題の複合化・複雑化、社会的孤立や排除の存在、地域の福祉力の脆弱化などの課題への対応として、「地域の持つ力と公的な支援体制の協働」を掲げている。そして、様々な福祉課題を他人事ではなく「我が事」として考える機運を作っていくための地域づくりの方向性として、3つの方向性を紹介した。

1つ目は、「自分や家族が暮らしたい地域を考える」方向性。自分や家族の将来に対する懸念や、自分や家族が経験した課題をきっかけに地域を考えるようになることである。

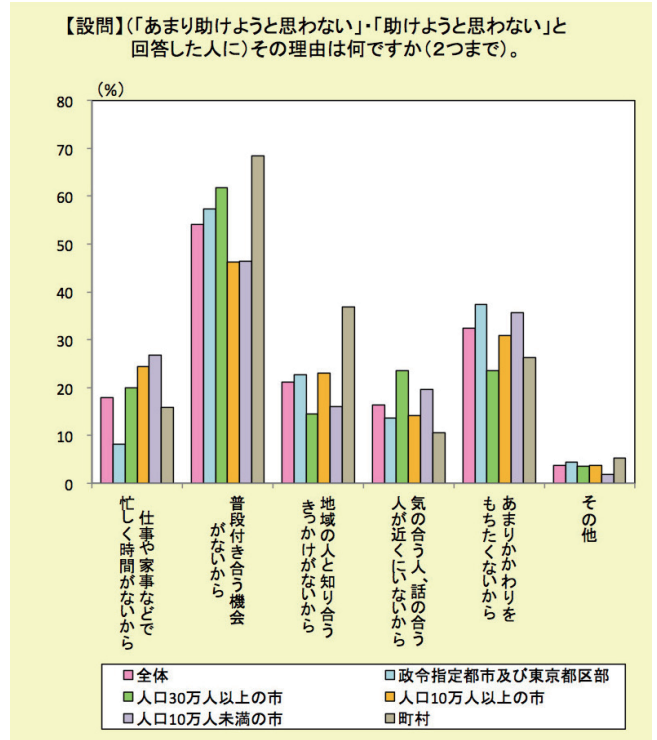
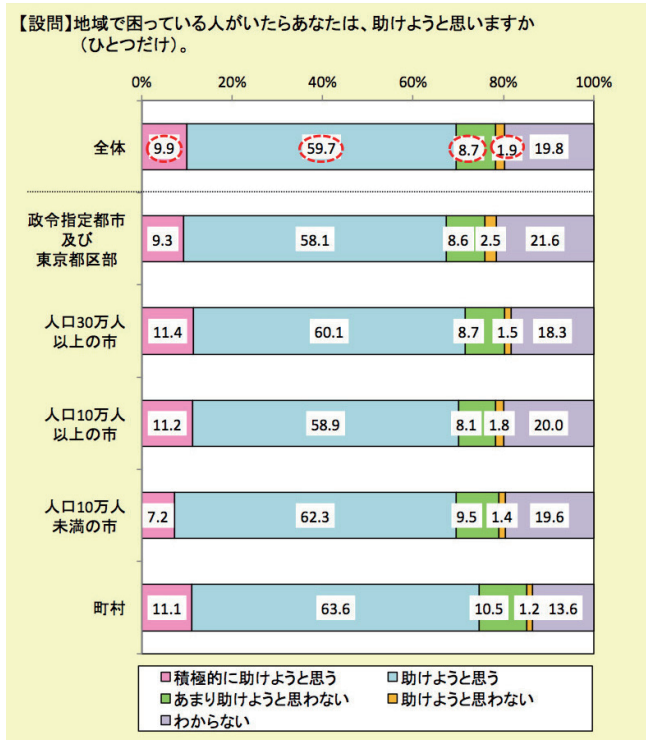
2つ目は、「地域で困っている課題を解決した

い」という方向性。これは、民生委員やボランティアなど福祉に関わりたいと希望する人を増やしていくという方向性である。

3つ目は、「一人の課題から」つくっていくという方向性。一人の課題を地域住民と関係機関が一緒になって解決するプロセスを繰り返すことで、困難を抱える人であっても支えることができる地域をつくることである。いわゆる「ごみ屋敷」について、相談支援の専門員が本人に寄り添い信頼関係を築く一方、住民が(その相談支援の専門員の誘いもあり)片づけに参加することで、「包摂」できる地域になっていく過程が紹介されている。

### ■福祉の枠を超えたクリエイティブな「福祉」を

3つの方向性はアプローチこそ異なっても、課題が生じることを未然に防いだり、課題を有する人や世帯に早期に気づいたりできるとともに、課題の解決のために居場所や働ける場所を地域につくっていくことができる。「中間とりまとめ」では、「我が事」の地域づくりを進めていくために、



資料：厚生労働省政策統括官付政策評価官室委託「高齢社会に関する意識調査」(2016)

地域に働きかける(「地域の触媒」になる)機能が身近な圏域の中に必要、としている。今後の施策の進展に期待したい。

こうした方向性に対しては、「地域への丸投げ」「公的責任の後退」といった批判は成り立ちうるが、3つの地域づくりに共通するのは、取り組む住民自身が(直面する課題は重いものでも)「楽しい」「やりがいがある」と感じられるということである。

さらに期待を込めて解釈すると、3つの方向性には「ひとりではなくみんなで」という視点が共通しており、「孤立」にどう立ち向かうかという視点が包み込まれている。我が国の社会保障制度では手が届きにくく、今後確実に大きくなり、あらゆる福祉課題に共通して影を落とす課題は「孤立」である。

この「孤立」の課題を、「支援の対象」としてだけでなく、地域全体の中で捉えると、解決の方法が広がってくる。「ごみ屋敷」の人が地域の商店街の

店番として働く、長年引きこもっていた人が高齢者の見守りの担い手や地域おこしの商品の作り手になる、1日誰とも話さない高齢者のお宅をほかの高齢者や放課後の子どもの居場所として開放する等、「地域」をベースに、福祉の各分野、福祉自体の枠も超えることは、非常にクリエイティブなことではないだろうか。

本稿で紹介した「中間とりまとめ\*」をもとに、今年の通常国会に提出予定の介護保険法改正法案に社会福祉法の改正が盛り込まれると聞く。これからの福祉の在り方を展望するとき、「地域」と「我が事・丸ごと」をベースにしたクリエイティブな発想がどんどん実現される施策展開に、強く期待したい。

才木福太郎(社会保障政策ウオッチャー)

\* 地域力強化検討会 中間とりまとめ  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000147066.html>

※本メールは、石田まさひろ政策研究会にご入会いただいた会員の皆様へ配信しております。

このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。ご意見は [info@masahiro-ishida.jp](mailto:info@masahiro-ishida.jp) までお寄せください。

【配信停止・設定変更】 本メールサービスの解除を希望する方は、石田まさひろ政策研究会までご連絡ください。

【配信元】 石田まさひろ政策研究会 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-1

Copyright© Masahiro ISHIDA all Rights Reserved ---掲載記事の無断転載を禁じます---